三月三日御節句神供圖

一ノ重

御箸

二 三 四 五 六

鶴 鯛 鯛 鯛 鶴
御飯 御草餅 推葉 御飯 推葉
十 鯛 十 鯛 十 鯛
御盃 九 鯛 十一 鯛 八 鯛

二ノ棚

才一 モノ花

才十五 モノ花

三ノ棚

十二種包物 ホヒツ

ホ菓子 ミヒツ

十二種包物 ミヒツ

ホ菓子 ミヒツ

御臺盤

鯉 ホヒツ

トヒウヲ ミヒツ

東帯

貴布祢御神事 十一月同断 浄衣指貫

三月晦日御料 公龍唐櫃七棹

御四手二ツ

四月朔日貴布祢御祭 褻袍 束帯

陳御神供之圖 別ニ有之 御内陣外

十一月朔日貴布祢御祭 今日ヨリ冬袍束帯

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305

ガラス使用

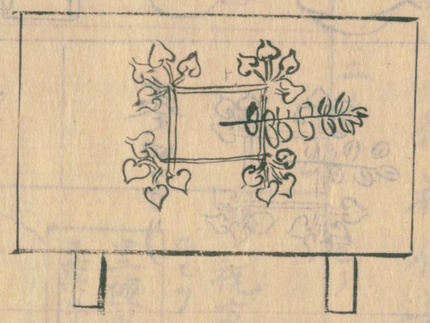
四月午日癸祭御掃除御戸開
沢井　　土屋分
一神主祝布巾帯ヲ
ヲ拂拭沢ニ御几帳ノ上ヲ拭
拭沢ニ御墓盤ヲ拭近年先御墓盤
前後掃除ムゝ先称宜方ヨシ次ニ祝方ヲ
外出ル又祝方御墓盤ヲ出スヒロ物忌川ヨシ
別當祈司統清也又別當進次棚上ヲ清ム

次内ノナゲシ板ホラ拭内陣
籠物行燈取出シ四座ニ
左御座ノ脇疊ノ上不残拂ヤム
次正權称宜外陣扉ナゲシ狛ノ辺不残拂拭
八キタメテ下ス
次片忌称宜權祝請取階上ヲ拂拭下ス
片忌共布称羽変次ニ社司変次ニ拂下ス
次社務代階下板上不残拂拭仕廻ヲム

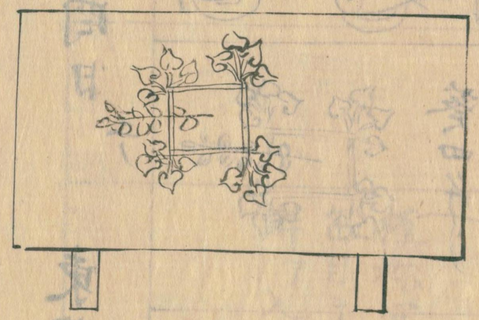
国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

沢内陣ノ御基盤参ル　先孫宮方沢ニ祝方
念入ニキレヌヤウニノ沢水ニ取次入内陣ヘ
神主祝直ニ安ス、
沢御戸開葵桂敬進

葵桂



葵桂



如此後進重ヲ
御臺ト疊ノ
上ヘ下ヨリ
葵桂

祢宜方

祝方

衣冠

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

二月晦日 植御祭御神供番

上ノ一重

御箸　祝方汁　鯉　鳥　御盃

二ノ

三ノ

権祢宜包目ノ解ケ入也

十二種包 ホヒツ 木菓子 祝方汁

御墓盤 鱠 ホヒツ 祝方汁

衣冠

今日ノ供ノ容別ニ泰ル所ノ戈ニ(ナシ)、供物ニ(ノ)事ヲ下向又神ノ(ニ)事ヲ也

上一重　葵祭前日　東帯

二ノ

御箸　松皮餅(ヘキミル)　松皮餅(ヘキミル)　鯉　鳥

御盃

葵四ケ折

葵四ケ折

三ノ

祝方汁 ホヒツ 十二種包 木菓子

祢宜方

祢宜方カリ ミツノ シロツ

鱠 ホヒツ

御墓盤

西日葵桂事ハ下ヘヲロシヲク

西日葵桂事ハ下ヘヲロシヲク

御墓盤

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305

ガラス使用

五月節句御神供圖　東帯

一ノ重　二ノ　三ノ

御著臺

御盃

鳥　鯛　アワメ
御飯　鯛　ホヒツ　十二包　ホ菓子
御鯉　鯛　ヒバソノヒカケ　ホヒツ　ホセキ
鳥　鯛

ホヒツ　十二包　ホ菓子

ホセキ

チアハセキ　盤　盤　チカヤノセキ

六月晦日御戸代會神供圖

一ノ重　二ノ重　三ノ重　衣冠

御著臺

御盃

鳥　鯖（サシサハ）
鯉　鯖（サシ）
御飯　鯖（サシ）

御飯　鯖（サシ）
御鯉　鯖（サシ）
鳥　鯖（サシ）

六　七　八　九　十

檜扇ハ二ノ掬（後ノ祝役）

刀　ザコ　十三　十四

アユ　ザコ　十一　十二

神主起ル又ノ時　両手サコ失　念ニテホ盃ノ後ニあし祝失　念ニテ御簾下リ盃不失　内ニサケ又ハ空

檜扇　才一　内ニ小麦ハリ包テ

十六　其後円ノ納）　檜扇

十六、十二種包物　ホヒツニ入　御菓子

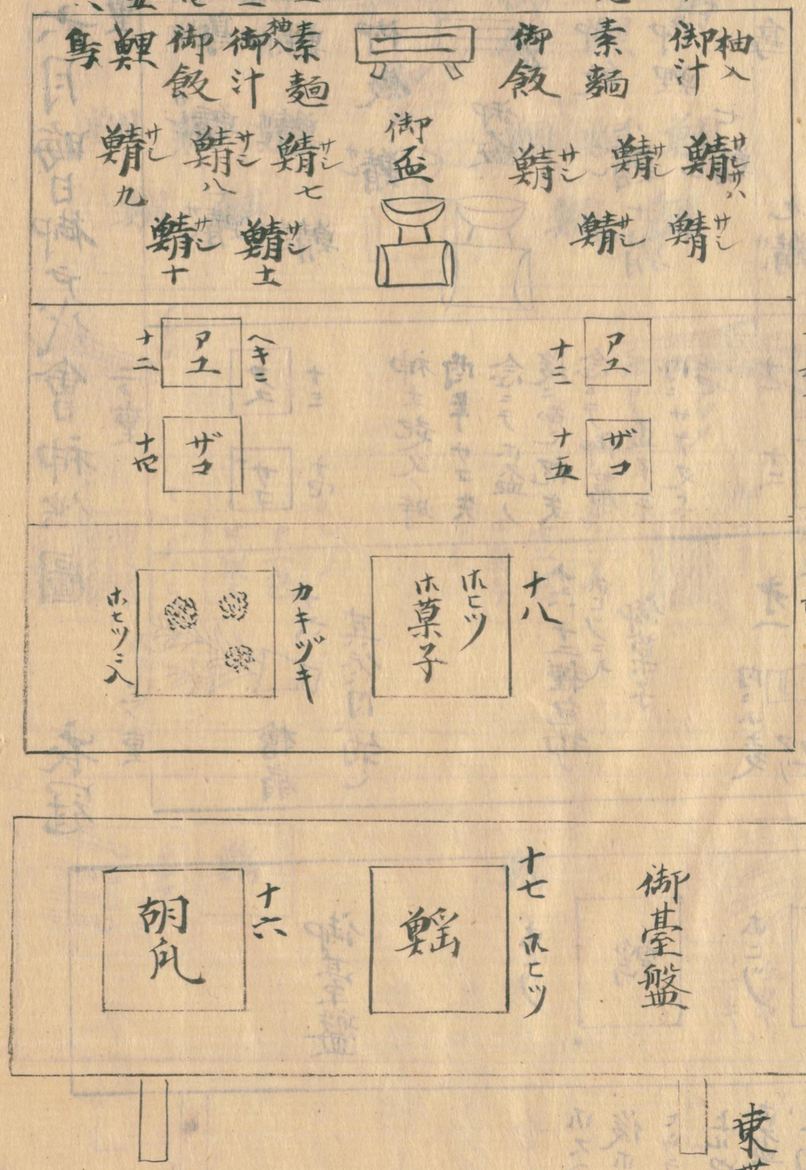
御臺盤

西　胡瓜　ホヒツ　盤　ホヒツ

ホスヘリニハ後ホヒツトヒラフ汁ニ　上ルや　ホ盃著ニテ上納）

七月七日御神供圖

一ノ重
二ノ重
三ノ重

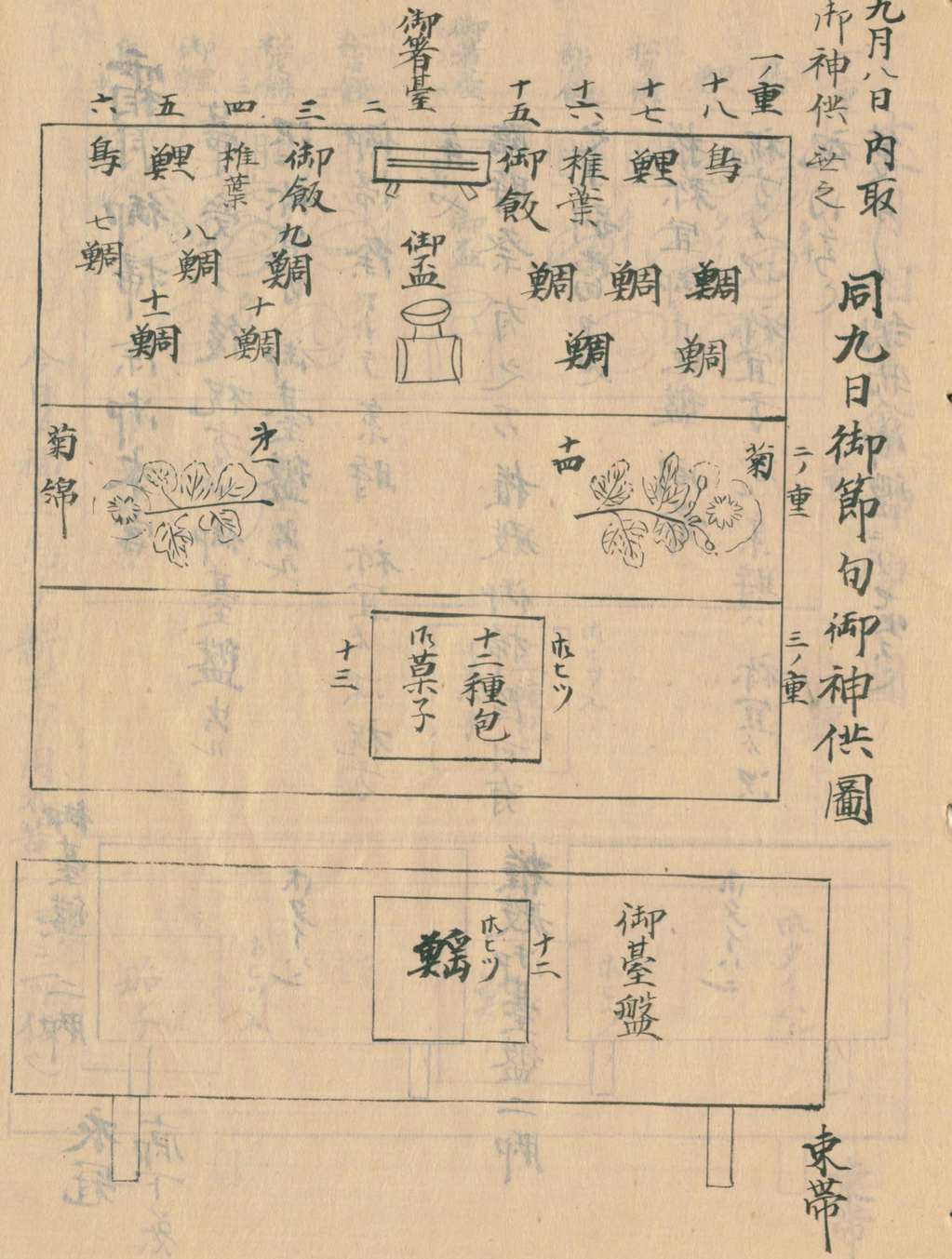


拍御料ハ毎夕別當置俊ニ階ノ脇ヨリ上リ七日ノ朝ノ御汁ノ神主陰直ニ直會ヲ

九月八日内取
御神供ヲ之

同九日御節句御神供圖

一ノ重
二ノ重
三ノ重



国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

霜月御掃除御本宮

當受ケ後祝方ゟ御墓盤出ル

沢ニ祢宜方　御墓盤出ル

御掃除了テ直時　祢宜ゟ沢祝方

ニ来ル

臨時祭有之ヲ摧殿御掃除可有

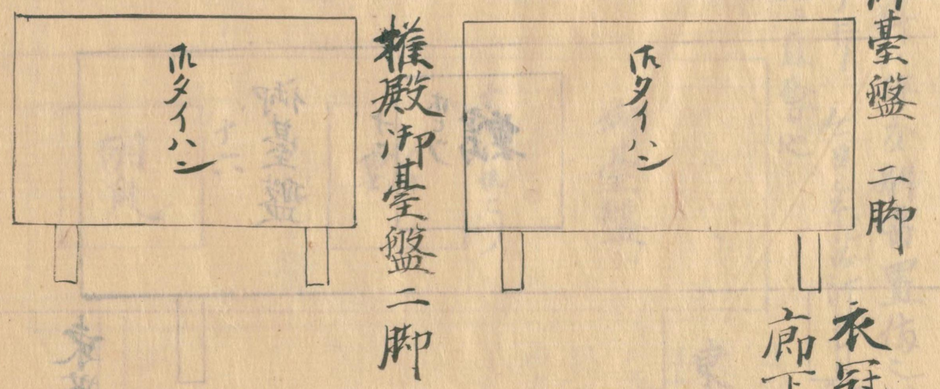
之ト別當ヨリ也

摧祢宜御墓盤　同前

祝方ゟ沢祢宜方ゟ直時ハ祢宜ゟ沢

祝日ヲシ

隻ゟノ　物御盤ニノセ出ス



十一月相嘗會御神供圖

一ノ重

御著膳 一　御盃　御鹽

二ノ重

鳥	鯉	打鮑	打餅	打飯	打餅	御鯉	鳥
五	タイ	タイ	二	八	七	六	

ナスビ土器ニ入

甲ノ戈可糸ス

三ノ重

十二種包
ホヒツ入
ホ菓子

ホタイハン

魚	ホヒツ	茄子	ホヒツ入

コミ可仮ベ

東帯

今日ゟ神主忌子新米ヲ用不苦

霜月臨時御祭御神供圖

内外陣

御八足一ノ重

鳥　鯉　御酒飯　御酒餅　御箸臺　御酒飯　御酒餅

御盃

ヒカケ　榊

二ノ重

ヒカケ　榊

三ノ重

ホヒツ　十二種包物　ホ菓子

ホヒツ　十二種包　ホ菓子

御臺盤

ホヒツ　鰭

ホヒツ　鰭

東帯

臨時祭權殿御神供圖

撤ル時御拭受分取ル御簾ヲロス各下官一人充拝退

先ず一番　小円座　ホ飯餅　ホ飯飯　ホ箸一

鳥五　ホ飯餅三　鯉　ホ飯飯二

七　八　九　十

御盃

横ヨリ指入也

ヒカケ　サカキ

めし前ヨリ入ル替也　ヒカケ　サカキ

ホヒツ　十二包　ホ菓子

ホヒツ　十二包　ホ菓子

ホヒツ　鰭

ホヒツ　鰭

置ク　三御臺盤

當午權祝物代前ヨリ入ル

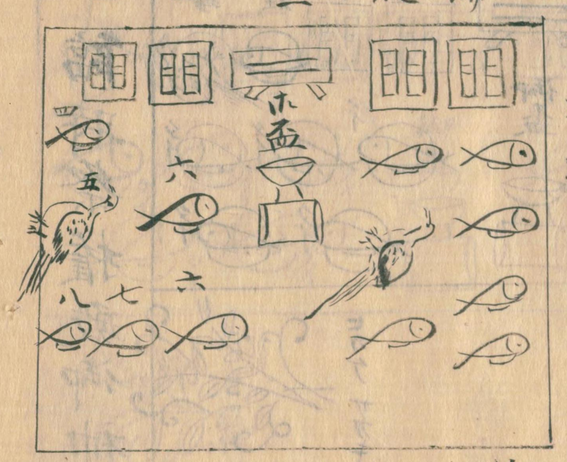
如此廻り伎二流

榊ヒカケハ取也榊二本汁也

申ノ戈初ノ内陣伎勤仕去ル

八疾ク煩雑久代来也

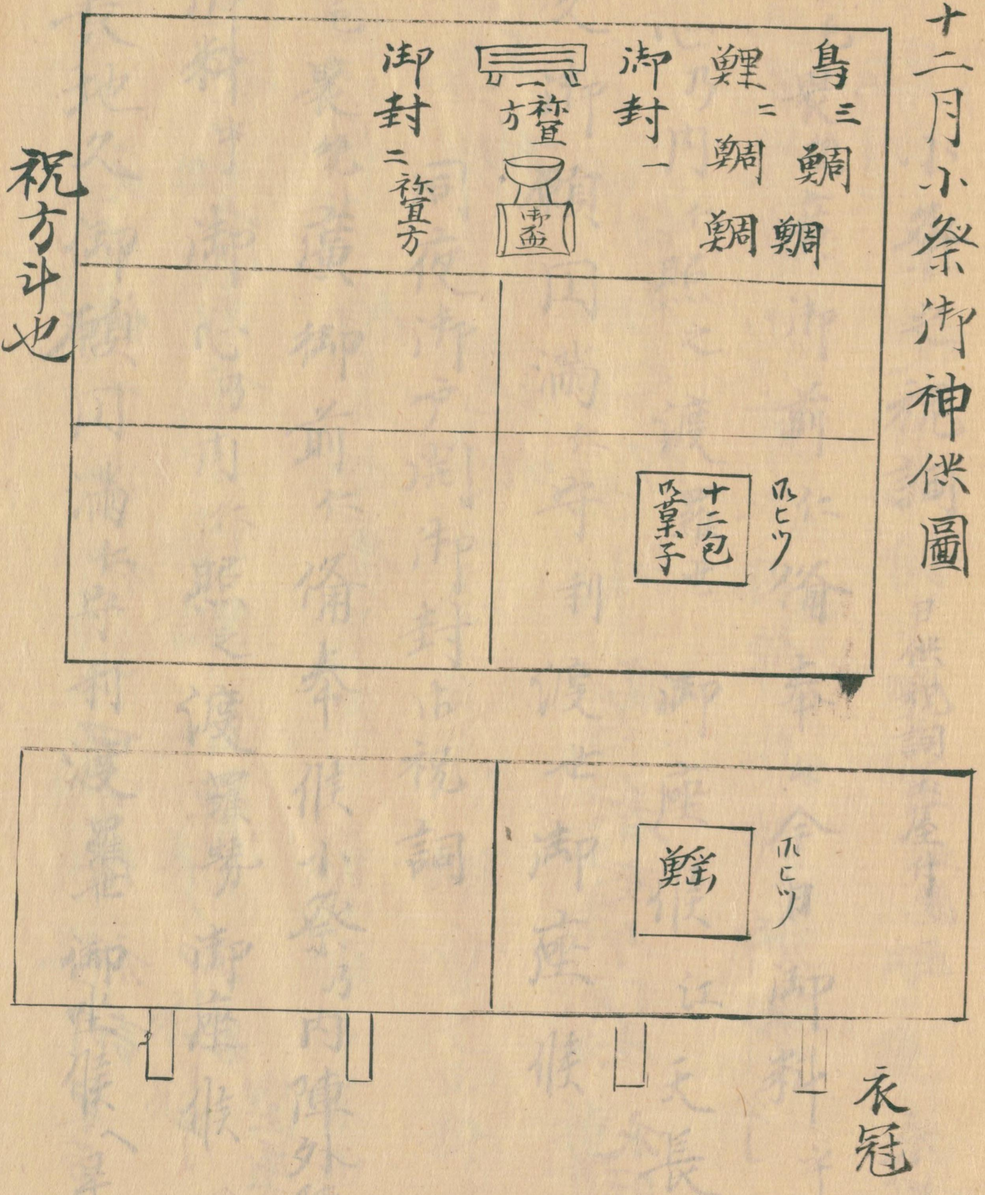
申ノ戈権祝重栄伎圖昏



如此

其如此伎ニ

十二月小祭御神供圖



国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

小祭之祝詞　日供祝詞玉屋作

掛毛畏支廣御前仁傭奉ル今日御料乎
御心乃内仁照之渡羅世
地久御願円満仁守利渡世御座候

同夜御戸開御封じ祝詞

掛毛畏支廣御前仁傭奉候小祭乃内陳外陳
乃御料乎御心乃内仁照之渡羅勢御座候へ
天長地久御願円満仁守利渡羅世御坐候へ畢ヌ

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

元日御戸開祝詞　四方拝祝詞　東帯

掛毛畏伎廣御前仁　門陣乃外陣乃御料乎
御心乃内仁　柏手大事

天神　地祇

白馬之祝詞　廊下著座御礼屋　衣冠

掛毛畏幾廣御前仁　内陣外陣御料乎
御心乃内仁

卯杖之祝詞　廊下著　無廳座　衣冠

掛毛畏幾廣御前仁　今日卯杖乎　内陣仁
奉倩御心乃内守利　御坐世　天長地久

御棚會祝詞　二文　土屋著　浄衣　楯賛

掛毛畏幾廣御前仁　今日御棚會之御料乎
奉倩江御心乃内仁照志渡罷世　精進頭名菜面ゝ　卿ヲ申ス

御粥御料祝詞　座御礼屋　廊下著　衣冠

掛毛畏幾廣御前仁　今日乃粥御料乎

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

奉仮当御心乃内仁照志彼羅世給倍
兼行由乎
歩ノ射之祝詞十度
初矢彼羅伊玉イ七矢喜餘目出玉布
此祈観念有之
傳受也
燃燈祭祝詞 社頭著 浄衣指貫
御酒祝詞 壇モ 御前モ 同前也

玉解祭祝詞 二反目
掛モ畏祇此御神乃廣御前仁今日之内陣
外陣之玉解之清料乎御心乃内尓照志彼
羅世給井天天長地久天下五穀豊年成就士給江
為白ラ閑ル射ノ口傳
初矢拂給へ七矢清目給へ観念
上下御田之祝詞
神酒洗茶祝詞 天下五穀成就観念

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

三月御節句祝詞二反月　土屋著廳座
東帯

掛毛畏幾此御神廣御前尓今日之御
節句内陣外陣ノ仝料乎
志渡羅世　天長地久
四月午日御掃除祝詞　橋殿座
衣冠

掛毛畏幾御社（ミヤシロノ）御掃除乎御心乃内尓
又ミアラカノ
二反月

掛毛畏幾御社御掃除乎倩目給江拂賜布
御心乃内仁――

擅ノ奉幣詞

掛毛忝毛御誕生乃奉幣於御心乃内仁
二反月

掛毛忝毛今月乃御誕生乃奉幣使向江
賜布御心乃内、――
同所四日ノ取時
御生所座

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

向ヘ賜布〳〵　二反

同榊ニ着ル時

近リ賜布〳〵　二反

同夜奏敬進祝詞　東帯　太屋座

掛毛畏支廣御前仁備奉ル奏桂乎

御心之内仁

二反目

掛毛畏笥廣御前仁備進候今日之祝詞　別有

乃奏　桂乎　御心乃内仁聞食給　天

一奏御祭當日之祝詞

一同橋殿ノ祝詞ハ所司代ヨリ

書渡ル句切ヲ好事モ有リ略之

一御迎馬寮祝詞口傳モ有之

搖御祭祝詞　二反目　太屋著衣冠

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305

ガラス使用

掛毛畏弖 廣御前仁 倩進り候今日
乃御内陣外陣之 御料幷 御心乃内仁
照志彼羅世 御座候江天下乃五穀成
就志天長地久 御願田満仁 守利渡
羅世 御坐候江畢又

同日澤田社并奉幣祝詞 澤田座 二度目

掛毛畏弖恐幾 澤田之奉幣 幷 御心乃
内仁照志渡羅世 御座候江天下乃五穀
成就仁天長地久 御願田満仁守利渡
羅世 御座志守り給候へ

矢乃祢御櫃仁石ヲ包来ル時取天置
時観念祝詞口傳

當年豊年〳〵観念穂仁穂乃實乃幸〳〵
能〳〵成就志給止心乃内ニ口傳
観念〳〵

五月晉御節句祝詞 二反目 東帶
掛毛褄幾廣 御前仁今日乃 内陣外陣
乃御節句乃 御料乎 渡羅世 御坐止
一同日馬場仁天 御囲ノ前仁天 祝詞別有之
六月晦日御手代會 壼著
掛毛褄奈幾廣止前仁今日乃御手代會乃
内陣外陣乃且月乃 御料乎五心乃内仁照志
祝詞且月祓之祝詞衣冠

輪ニ入ル時
且月乃名越の祓すると人ハ
とそ夢とうつゝ

七月七夕御神事祝詞 壼著 東帶
掛毛褄幾廣 御前仁今日内陣外陣乃
七夕之 御料乎 御心乃内仁照志
弘井天

九月節句 御神供ノ祝詞 壼著
二反 東帶

掛毛氈帳 廣御前ニ今日乃門陣外陣
乃御節句乃御料理 御心乃内ニ聞食
給侍矢

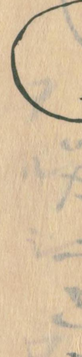
一三ケ大事ニ重事ニ
之神事也

清茂先説不用
先此地取ハ相撲之儀ニ非ス 當社根本宮
柱太敷立之時八足烏二羽飛来テ今
之神殿ノ所ヲ教之則一羽ハ序国社ニ一羽ハ

我神社也我神ハ惣ノ日本国ノ惣我神也
今日烏躍ト摘メ乃称宜祝仲 權祢宜祝幄ノ前ニ立リレヨリ出テ
指笋ヲ讀ニ曰 坐布祢宜(ノリ)祝俊也 此儀書面ヲ
不讀ノ
下通
賀茂社地取
明暦三年丁酉九月九日如此讀也
讀終テ細殿ノ御簾ノ中ニ祢宜尤ノ服祝ハ

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

右ノ脇ニ文扶ニ挿入立カケテ置也
先祢宜方ヨリ沢ニ祝方沢立
斗リヨキテ地割ノ仕也

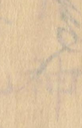


先祢宜方之圖
苅ニテ左ノ手ニテ右袖ヲ押ヘ裾ヲ
引 書也
沢練物右ノ跡ヲ見也

如此練納テ 直ニ帳ノ前ニ置也

沢祝出テ 如此仕也 但右ニ

躍ル
練樌
六十四本ノ柱立放也



如此練納テ 帳方ヘ引

也

左右立向テ玉屋ヘ入也
鳥躍之沢第

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

寛文七年 保可也 某権祢宜職初而執行
起久ホ名誌右宮処
(二)(三)
(一)(二)(三)
(一)(二)(三)
(一)

地形

天 天より一氣下ル又地より一氣上ル
畢竟天ノ字ニ象ル也

元也
一氣ノ天 書テ示ス時ハ 也ノ字ヲ用ル也

天字ハ格別ノ義ヲ用ル也

霜月御掃除 濱床ノ前ニ帳ノカヽリ 千代紙ヘハラヒ廻ル也 祝ヒ右ノ服ヘハラヒ廻ル也

権殿 如何 衣冠

初ナケレヽ ナゲレ掃之 ハキ込ハラフ 幸櫃 箱ホ悪 ハキ込ハラヒ 兼ノ下ニ円座ニテ

同相嘗會 御祭

同臨時御祭

一説

掛毛 畏 此御神乃 進候 今日乃

廣前ニ 後ヘ

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

一小祭乃内陣乃御料　衣冠
一元三乃御節句始乃内陣外陣
　乃御料
一印杖
一白馬奏覧乃内陣乃御料　廊下着沓机屋座
一今日十四日御棚會　淨衣指貫土屋着

今日十四日御棚會乃奉幣ヲ
河上ノ兩御小野御祈祷人河上ニテ
祝詞終テ初度ノ幣二榊ヲ授ケ
左ノ階ニ立カケ又尚ヲ着テ立カケ
一榊ヲ取テ但氏人一人幣ヲ取ル
一大宮御精進ノ名榮ヲ加、奉幣ノ
立カケ又但祈宜祝兩役有之時ハ祈宜一度ニ
河上祝二度ニ立大ノ上ニ昏リ〳〵奉幣有之也
一役ニ之具幣ハ如此祈宜方祝方ヲ並也

沢又省ヲ着

小山郷奉幣　精進ニ付名楽

一方階ニ立カケ毛

沢中村郷精進ニ付奉幣　名楽

沢岡本郷精進ニ付奉幣　名楽　日参祝方也

沢上茅能ヲ一棒ノ退参　日参祢宜方ニ

先御棚ノ弥リ　公龍　苅ニ御料ヲ公龍両ニ女。

イタヽカセ両ノ社ニ集詰仕丁料ニ橋掃供メ

六郷ヘモニ　外陣ニ莚　盤ニ安ク悉供ヲ後ニ

各ヲ着奉幣　初ノ也　大折

鯉小鮒二ツ串　折二十切　大ひら

小角ニ菜ル小野郷　小拝ニ如ク　其外立木ヲ寄

滴ノ筒一ツ宛ル也

一本宮ノ前御棚六郷　導置

沢五官役ニ札

屋前座。着　神主ヲ立奉幣乗司　別

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305

ガラス使用

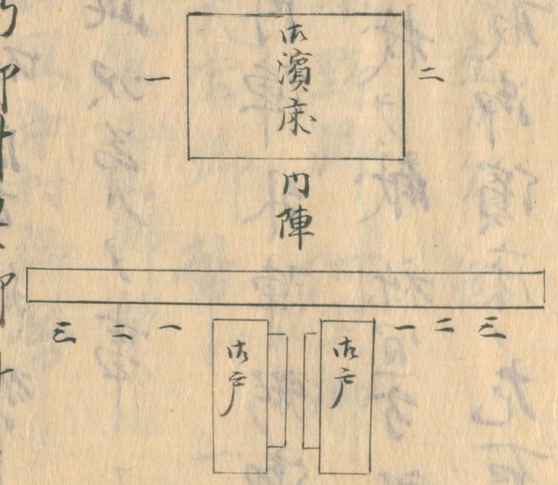
當衣紋ヲツクロヒ頒リ精進頭ノ若衆ヲ
尋幣使ノ後ヨリ時ヲ申入ル
小庭立砂ノ間ニテ奉幣ヲ
ヲ階ニ立カケ玉
一神主小野卿 何上卿 両卿
二次祝(ト)大宮卿幣一榛
三次祝(上)祢宜(ト)小山卿幣一榛
四次權祢宜中村卿幣一榛

五次權祝岡本卿幣一榛
如此次第ノ事ヲ

十五日内陣外陣粥御料
粥杖ヲ獻祢宜方祝方ヨリ内陣ニテ
手取御簀床ノ左右柱ヲ
次祝方次立内陣ヨリ
祢宜方次祝方ヲ粥杖ヲ出ス外陣ニ權祢宜
左右ニ立ル扉ヲ油メテハヒラカヽチヲトシトシト
ヒラカヽチヲ二所トシトシト

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

一交ヌリ迄



次粥御料奥御料共ニ氣ル也

但称宜祝壱之一人ノ時
左右ノキニテ取リ盃招キ申也

十六日

ロノ四十二射立也

先神主祝立射次ニ称宜ヨリ以下称宜祝立
次第ニ立並射ル矢取矢ヲ次第ニ後ス
通物枚原一帖第雑紙二帖職方御包
シリゾヘ通ル矢取流ス

次各立射ル今度ハ下座ヨリ初ル通物御包
但廿一人有時ハ二射立ニテスル也
シリスヘ。尚幸十七人有時ハ権称宜
ヨリ上六人立テ居ル也 以上四十二射立也

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

一廿五日不定丁子也

今日乃燃燈乎

但八社各祝役也但祝無之社ハ称宣ふ事也

先若壇へ集り祝詞ヲ奏シテ而本殿ノ御後

燃燈ノ西脇供仕り次而ニ社へ集ル也前日

出納役トメ小松子トヨウ女ニ前日ヨリ来テ包テ置ク

当日ニ若出納五楯ヲ持テ名ニ廻ル後一今日

御衣掛賢ニテ集ル時お納物供ナス事也

神主ふカニス九枚ニ人ハ役人ハ十六日

トヒウカニス二枚元宮ノ前ニ

川燃灯ニ改有ニ付ニ而ハ当年ハ不足付近

住ニテお断也

一説

（下ヲ本ニ）

榊一申ス曰ク神号入ル日舎殿五楯ヲ

陣食ニ照ス御座ヲ敷弥天長地久ニ守利

彼ラセヲワシニスヘキ

此一冊者自神主保可自松下神主矩久相兼之屯在保喬許清豊
以澤田祝李張手写之本写之
受之ㇾ

右京權大夫賀茂清茂

右今度自 清茂縣主ㇾ依受相傳易許
ㇾ上 令手写ㇾ訖

元文六辛酉年正月十三日

直安

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305

ガラス使用

系圖考

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305

ガラス使用

系圖參考

紫系圖云德四年五月清茂宇當了

△豊後守方顕所持之系圖

清茂私曰此系圖云徳四年五月一覧殊勝者之系圖ナリ
不記氏之見知ラス如何書写ニ誤ルト見ヘタリ
男休来代自欽明天皇至天云四年千此七年ヒ自大化二年至天云四年
九百四十年ニ

∴賀茂社祢宜系圖

●男床

祢宜執行百七十九年補大化貳年ヒ天長弐年卒
人皇廿代欽明天皇御宇始ヒ被行賀茂祭ヒ・淡峨淳和二
代之聖神寺建立本願弘仁十一庚子年、既依神御
託宣也

●廣友

祢宜執行六十一年補天長二年仁和二年卒
淳和仁明文徳清和陽成光孝六代御門也

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

・負基

祢宜執行廿六年補仁和二年之延喜十一年卒光孝天皇
宇多醍醐三代御宇寛平元年己酉始而被置
陳時祭 祭使 照宣公基経嫡男九近中将時平
于時十九歳〻

・忠實

祢宜執行廿一年補延喜十一年也 天慶六年卒
醍醐御宇〻

・忠主

祢宜執行十二年補天慶六年六月廿日天慶元年卒
忠実子也 朱雀村上二代也 同年四月廿日朱雀院
當社條幸 同六年六月廿六日譲与祢宜職於忠主〻
天暦九年卒

・在樹

祢宜執行十二年補天慶六年也 同年癸卯六
月廿六日在樹仁譲与祢宜職於〻 天暦九年卒

・在實

祢宜執行十二年補天慶九年也 天暦九年未 同年
正月廿八日朱雀院御門行幸賀茂社之時祢宜賀
茂在樹祝部春里奏勧賞叙従五位下報賞也
同六年癸卯十二月一日片岡貴布祢河合奉授
正二位依行幸賞也 朱雀村上二代也

已上六〻内五代〻不生不滅也

・花山院太上法皇尊儀御子四品彈正尹清仁親王孫依神儀伯父親王養以賜源
之姓祢宜執行十三年 別本奥或作信也

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

忠頼　祢宜執行六年補文三年甲戌也寛弘七年庚戌卒

成實　神主治二年乙亥五月十三日補　池神主歳四十九自永萬二年至永保二年二十年之後
神主拉下類林ニ鎮或作信　歳至四十九山ニ此二年ニ不審

成助

成遂

△主馬首魚如耳持ノ魚一流之系圖
故兵ア甘甫竟平之筆跡ニ　竟平ハ七八山ニ
之比被召了

賀茂社祢宜神主系圖

男床　祢宜執行百七十九年補大化二年也天長二年乙巳
卒人皇卅代欽明天皇御宇始ル　被行賀茂祭ニ
諸峨淳和二代ノ聖　神寺建立本願　弘仁十一年
庚子寅ノ建立也已依神之御託宣也

廣友　祢宜執行廿五年補天長二年乙巳
文化清和陽成光孝六代御門

貞基　祢宜執行廿九年補仁和二年丙寅嘉十一年卒　光孝
宇多醍醐三代帝宇　寛平元年己酉始被並臨時祭
祭使昭宣公基経嫡男時平　于時十九山ニ

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

忠實　　称宜執行廿一年補延喜十一年之天暦五年卒
同年六月廿六日譲与称宜職於忠主之

忠主　　称宜執行十二年補天慶六年之同年卯六月廿六日
在樹仁譲与称宜職之　　天暦九年卒忠実
子之

在樹　　称宜執行一年之補天慶五年之同年四月廿日朱雀
院行幸賀茂之時祝部春里蒙勧賞叙従五位下
平将軍賊賞之　同六年卯六月廿六日譲与称
宜職於忠
同六年卯十二月一日斥忌貢布袮河合奉授正二位
在実　依行幸賞之

△肥後守清為取持之清一家之系圖　推称宜詮平外題

慶長十四年九月吉辰以社家之系圖合校合了
可為規本者
後裔下賀茂縣主清為

賀茂社称宜系圖

第一
男床　　称宜執行百七十九年補大化二年之天長二年卒
人皇三代欽明天皇御宇始被行賀茂祭云々
孝徳リ淳和ニテ十七代ニ当リ人皇聖神宣
達立年願弘仁十一庚子年依神御託宣

第二
廣友

第三
負基

祢宜執行六年補泰長二年之仁和二年卒
淳和仁明文徳 清和陽成 光孝六代御宇人

祢宜執行廿五年(六ノ)補仁和二年之延喜十一年卒
光孝宇多醍醐三代御宇ノ 寛平元年己酉始被
置臨時參ノ被昭宣公基経嫡男左近中将時
年干時十九歳也

第四
忠実

祢宜執行三十一年補延喜十二年(一ノ)之天慶五年
卒 醍醐朱雀二代也宇ノ

第五
在樹

祢宜執行一年補天慶五年之同年四月廿九日(一ノ)朱雀
院當社臨幸干時賀茂在樹祝部春里蒙勸
賞叙従五位下轍賞也同六年六月廿日(二ノ)譲与祢
宜職於忠主ニシ

第六
忠主

祢宜執行十二年(三ノ)補天慶六年六月廿六日(二ノ)也
天暦元年(九ノ)卒 代忠実子也 朱雀村上
二代御宇

以上六代之内五代ハ降人也祖父不詳

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

清茂社記録第四十七冊自慶安奉納至三年文庫之清茂写留了

△越後守頼章不拘之事一家系圖

前神主尚久之筆跡ニ

氏之私云端ノ六代之口トガキ清水ノ系図ニ同ニ故ニ不載之

在実ハ後ノ次中松也ノ事ヲ云

賀茂社祝宜神主系圖　前神主賀茂直久書之

- 在實　祝宜
  - 一男忠成　祝宜
    - 一男成經　神主
    - 二男成助　神主
      - 一男定成　貴布祢祝宜
      - 二男成継　神主号大入道
      - 三男重助
    - 二男成真　神主
      - 一男能助　公祝
        - 一男成重　神主
        - 二男重継　神主
        - 三男助継　権禰宜
        - 四男重平　公祝
        - 五男助長　禰宜
        - 六　重忠　神主
        - 七　家助
      - 二男重保　神主号大人
        - 一男重政　神主
        - 二男重信　禰宜祝
        - 三男重房
        - 四男実保　実幸
        - 五男保高　正祝
        - 六男季保　片岡禰宜
  - 二男忠頼

氏之私云社中之惣系圖ト相違如此ニ

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

△氏人中之大系圖 右本

賀茂社記宜神主系圖

男永 天長二年乙巳卒去 従五位下 淺峨淳和二代
聖神与建立本願 弘仁十一年庚子造立之
依神勅託宣之

廣友 長二年補 兼和十一年甲子始叙外従五位下 淳
仁和二年丙丑卒去淳和仁明文徳清和陽成光孝六
天長二年乙巳十二月十一日晝置聖神寺縁起

兼和十一年甲子十月廿四日被停止河上流汚虫損ス
子被禁護社邊汚穢ノ
貞観六年甲申三月十四日以太皇大后宮藏ノ
十郷蔵料米谷ヲ
聖神寺佛聖供燈油料
元慶八年甲辰七月廿九日被禁制神山四至内偷
射猪鹿不可ノ 由若有犯者五位已上取
名奏例六位以下宜按進ノ其身曾不寛
宥云ヘ

貞基 仁和二年丙午補 延喜十年辛未卒去治廿五年
先考宇多醍醐三代御門

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

寛平元年己酉被始置陳時參祭使照宣公墓誌
嫡男時平也十九歳

忠実　延喜十一年辛未補
治部一年醍醐天皇　忠全
　　譲元権祢宜
　　天暦九年乙卯卒去治十二年
　　朱雀　村上二代

在樹　天慶五年壬寅補同年四月廿八日朱雀院行幸賀茂
社之時祢宜賀茂在樹祝ニ部春里蒙勧賞叙一伍
下平将　載賞也　同六年癸卯十二月一日片岡貴
布祢河合　奉　授　正二位依行幸賞之
治一年　朱雀院御一一

已上六人ハ父祖不詳但在実ハ花山院ノ子四品彈正尹清仁
親王孫神祇伯延信子ニテ父ノ親王ノ徳ノ姓ヲタマハリ
依テ

氏之私云家ニ所記置有如此之異説之方顕倫為無如頼
幸ホ之本男休祢宜ヲ拘ル当百七十九年ト孝徳天皇大
化二年ヨリ天長九年ニ到ルト載之代数ニ
友トノ中間ニ祢宜アルベケレトモ
リツケン為ニ百七十九年ト載ル
間ニモ祢宜タリトイヘ
ヘラレ名様ニ記シ置タリ
ホラ　換爵セシニ　益雄　仁寿元年
十五日叙外従五位下
　　門麻呂　貞観十六年
外従五位下

不考得之
誰人ト雖知之
廣友ハ祢宜二十一年カ
廣友ト貞基ト
先年文徳實録ニ代実録
四月戊午　貞観五年四月
叙之三人授ニ賀茂

祢宜ト被載タリ十七人ヲ脱シ落シテ負基ヘツリッケン為ニ
慶友ヲ六十一年カキタルト見ヘタリ又結為ノ和ニ以上
六代之内五代ハ降人ニ祖父不詳トカキ方頭ノ和ニハ
六代之内五代ハ不生不滅ト昏タリ比ホ之処弥以不審
又人皇北七代孝徳天皇ノ小字ヨリ朱雀院村上天皇
ホ字ニ到テ不生不滅ノ人アランヤ上代ニハタニく倭姫
皇女武内宿祢ナトノ長命ノ人アリトイヘ共男体ノ祢宜
百七十九年ナランヤ又父祖不詳トカキ又フモ不審之姓尸
録ナト来考之旨ニ譜牒難知先ヒホ之処共
以難信用ニ歩多社中之起系図カキヤハ付ル彼是
群酌ニテ祢宜ノ年数ヲカンカヘ人ミノ下ノホカキヲモ
配分ニテ載之ラ古本ノ系図ニ相違ノ様ニ見タリト

イフ共更ニ私意ヲ以テカキ載ル事学之幸ニ社
中之起系図ニ男床慶友ホノ下ニ祢宜何ク年ト不
記之ニハ十之意ヲ以テ之ヲ知ヘ
又起系図ハ在實ヨリ九世十世ノ比ニテ在筆之其ホ
後ハ後代ノ人書續ルトヘタリ
又起系図ニ在実ノホガキニ
尹清仁親王孫神祇伯延信ノ子ニ又在実ノホガキニ
村上ノホ字天徳二年ニ卒ニ天暦九年ニ祢宜ニ補スルト
在実ヨリ八代ホあと
花山院清仁親王　子　孫神祇伯延信　子在実
年数ハサホド積ル事ハアルニホケレ共三ツハ弁ヘ
ホ之ホ

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

如此之事ハ定而筆者ノ誤リナルヘシ

新本之大系圖

賀茂社家之系圖上

男牀　聖神寺建立本願
弘仁十一年庚子聖神寺造立依神託也
天長二年卒去

廣友　天長二年補同年十二月廿日晝墨聖神寺像起
承和十一年十月晉祝停止河上流汚穢
祝禁ニ觸社邊汚穢

益雄　仁壽元年四月戊午叙外從五位下

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

・貞當　貞觀五年四月十五日叙外從五位下
同六年甲申三月十四日坐太皇大后宮職、——
——十卿厳固四十五町九段七十歩被寄進
聖神寺佛餉供灯油料 栗谷庄之

・門麻呂　貞觀十六年七月廿日叙外從五位下

・貞基　元慶八年甲辰七月廿九日被禁制神山四至内偷
射猪鹿不可、——由若有犯者五位已上取
交名　奏聞六位以下宜捉進其身曽不可
寛宥之、
元慶八年四月三日叙外從五位下
仁和二年丙午　祢宜補　元慶七
伍下

・忠實　寛平元年被始置陳時祭
延喜十一年　幸未卒

・在樹　延喜十一年祢宜補　天慶五年　卒

・忠主　天慶五年補　同年四月廿九日集雀院行幸賀
茂社　平將門追討之報賽　祢宜賀茂在樹祝部
春里並叙一伍下
同六年六月廿六日与奪等祢宜職於忠主了
天慶六年六月廿六日祢宜補　元推
同年十二月一日奉授片岡貴布祢河合並二位行幸
賞也　祢宜

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

天暦九年卒

氏之私云、右系図ニ庚友ノ下ニ、兼和以後元慶八年以上ノ支ヲ小カキニ載ストイヘトモ今ノ新本ニ改ヲ益雄真嗣川麻呂ノ祢宜補任ノ年代ノ考ヘ其人ノ下ニ勘ヘ入テ配當シ書載ノ、又同人ノ下ニ仁和二年ニ卒ス下ニアルヲモ削テ不書之、又六人ノトコリニ以上六人父祖不詳トイヘルヲモ削テ不書又六人ノトコリニ以上六人父祖不詳トイヘルカヲモ削テ不書等ヘ保房云〇已下之文皇儀可削去ノ

賀茂社家之系圖下

一、氏一流 第一

○氏部亟氏宣所持之系圖 ●在実忠成茂忠安頼

成氏氏經ト云リ、亟系圖并諸家ノ本ニ相違之

○同本ニ氏綱氏世

氏直 忠信

通世 ト載之一是又誤之

惟氏

右本ノ祢系圖

氏世 忠信

通世

惟氏 氏平

彦氏

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』　請求記号 832-305

ガラス使用

荒平ノ弟ノ方ヲ本ニ如ケン

○彦氏
- 季氏
  - 氏貴
  - 氏忠
  - 康氏
    - 氏知
    - 氏延
    - 氏永
    - 氏頼
    - 氏幸
    - 氏音
    - 氏時
    - 氏俊

抑系圖并出雲守氏増豊後守方顕等ノ所持之本ニ如右雖有之然益氏廣氏等ヲ、氏延氏時ヨリ上座ニカキ乙、神前之御札撒ニ有之右不實ニ付テ先祖ニ尋之外ニ氏ノ在中之系圖并縦令助氏展転抄之本ニハ廣氏ノ下ニ氏益氏廣氏ト載テ、氏知氏頼氏時ノ三人ヲハ、氏音ノ下ニ載タリ依之大ニ度ノ新本ノ大系圖ハ右本ノ如ク系圖ニ右遠ノ條ニ見ルトイヘ共、殊ニ枝分ナル故ニ左ニ記ス如ク本ニ載ル

彦氏
- 季氏　大益物氏金ノ祖
  - 氏貴　従五位下祖
  - 氏忠　出雲守氏増祖
- 氏水
- 氏音
  - 氏知
  - 氏頼
- 康氏ー氏益氏　伯耆守
  - 廣氏　従五位下氏増実
    - 氏棟
  - 氏宣　上野介
  - 氏定　雅楽助
  - 氏種

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

氏時

也三門ニ時氏トアリ

一　平　第二

○鳥居大路家ニ故兵少尭平ノ筆蹟ニテ平ノ流ノ系圖アリ左ニ

家平―国平―光平―弘平―能平―幸平

尭平七十余山ニテ昏スルトアリ　光眼ニテ　系譜ノ朱ヲ見損セラレタル故ト思フ外ニ豊後守顯ノ本モ尭平ノ筆ニテ如レ右カレタリ不審之

社中古本ノ大系圖ニハ

家平―国平（太郎大夫）―有久
　　　　　　有行
　―能平―景平―景保
　―光平（正祝）
　―弘平（神主）―師平（大郎大夫）―茂平（神主）
　―尭平―惟平（神主）―旅平（キ布祢宜）―也平（正祢宜）

如此面ニ子孫委細ニアリ然ニハ尭平ノカレタル事ナレハ是ホノ支ヲ改テモ反ノ新キホノ大系圖ヲ拠トメ昏スルヿ

○鳥居大路ノ家ノ本ニハ　貞平（神主）ノ弟　明平（三郎）ヲ神主延平ノ子トメ（弘権祢宜）平ノ弟ニメアリ是亦誤タルトヘタリ　代明平ハ神主

宗平ノ叔父ニ当(子)松三口ノ如シ　殊ニ公家ノ記ニモ負
治二年後ノ六月一日ニ明平三男四郎実弘平撲死ノ
トキ神主宗平ト権祢宜為久ト触穢ノ清秡有之
許陳状ニ四郎実弘平ハ神主宗平ノ従父兄弟載
ラレタリ然ハ明平ハ貞平ノ末ノ宗平ノ父タル事ヲ
明ラカニ

○神主宗平ノ三男　山城守嗣平
(若石)
光平
(秀菊)
元平
教平
国平
(宮内カ)
観平
(金寿)
竜平
(あこ)
(後ニ改竜平)
(宮若)
宅平
(宮一)
那平
(金菊)
永平
(福王)
依平

右ノ山城守嗣平ヲ始メ歴代ノ神主宗平ノ三男ト小カキニカキタルハ
神主宗平ノ三男ニカキタルハ鳥居大路家ノ如
(正祢宜)
○延平
(権祢宜)
通平
(祐主)
貞平
宗平
(養作)
鳥居二郎
嗣平
(奈良祝)
宅平
(権祢宜)
郷平
(大夫補佐)
愛平
茂平

サテ鳥居二郎嗣平ヲ見損ヒテ山城守嗣平ノソバノ小カキニ神主

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

延平ノ三男ト載ス又タリ

方顕カ

幸平―惟平―世平―延平―近平ト、方顕、本ニハ

カキタリ弥平ヲ脱セリ

怒忌篇ニハ

沸主　キ布盤宜

幸平―惟平―弥平―世平トアリ

一清之一家　第三

清為ノ女

久清―清成―清俊―清澄―清秀―清延

清範―清富―清永―清依―清増

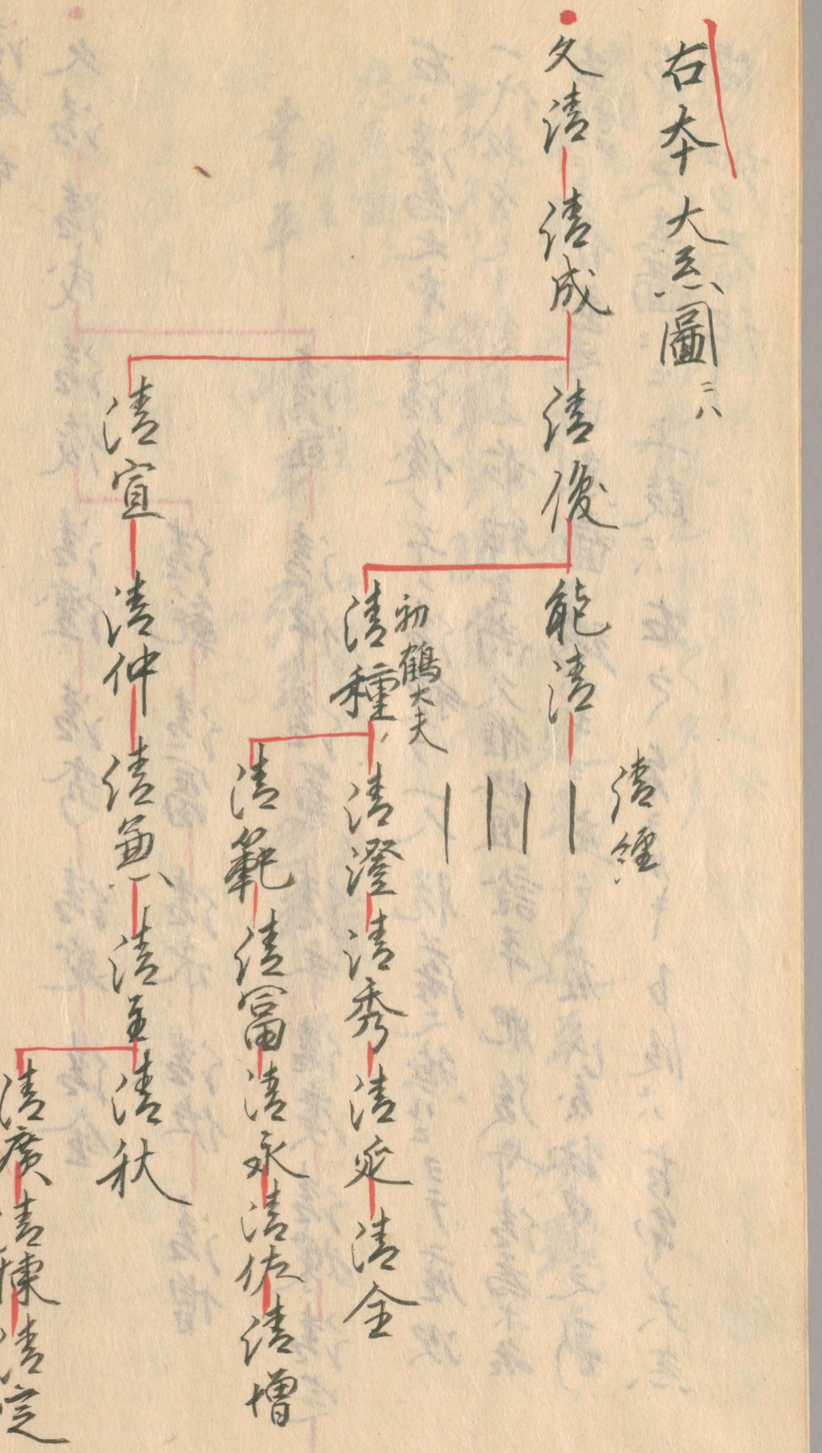
清宣―清仲―清兼―清年―清廣―清煉―清岑

右、清為之本之清俊ノ子ノ清種ヲ一人脱落之ト雖モ一代抔考ヘトイヘトモ前神主尚久推称宜詮平肥後守清為ホ名本談ニテ眉毛之由ニ忌篇ノ端ガキニ立ニ布シ大忌篇ニモ上陵ニハ右之方ヲカキ下段ニハ古形大忌岡ノ如ノ眉記ス

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305

ガラス使用

右本大系圖ニ



寛平所記座席ニモ清當ヲ社司ヨリ六世ノ外ニ被記玉タリ、又七世ノ外ニ清定 清永 清秋 清廣 被載タルヲミレハ清範

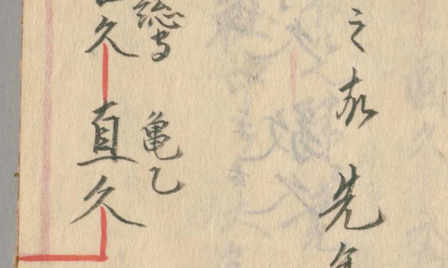
父ニ清種ト云人アルヘシ、社中ノ大系圖ヲ可為ト符合ノ

一能之一家 第四

代系圖ノ中ニ得失然之

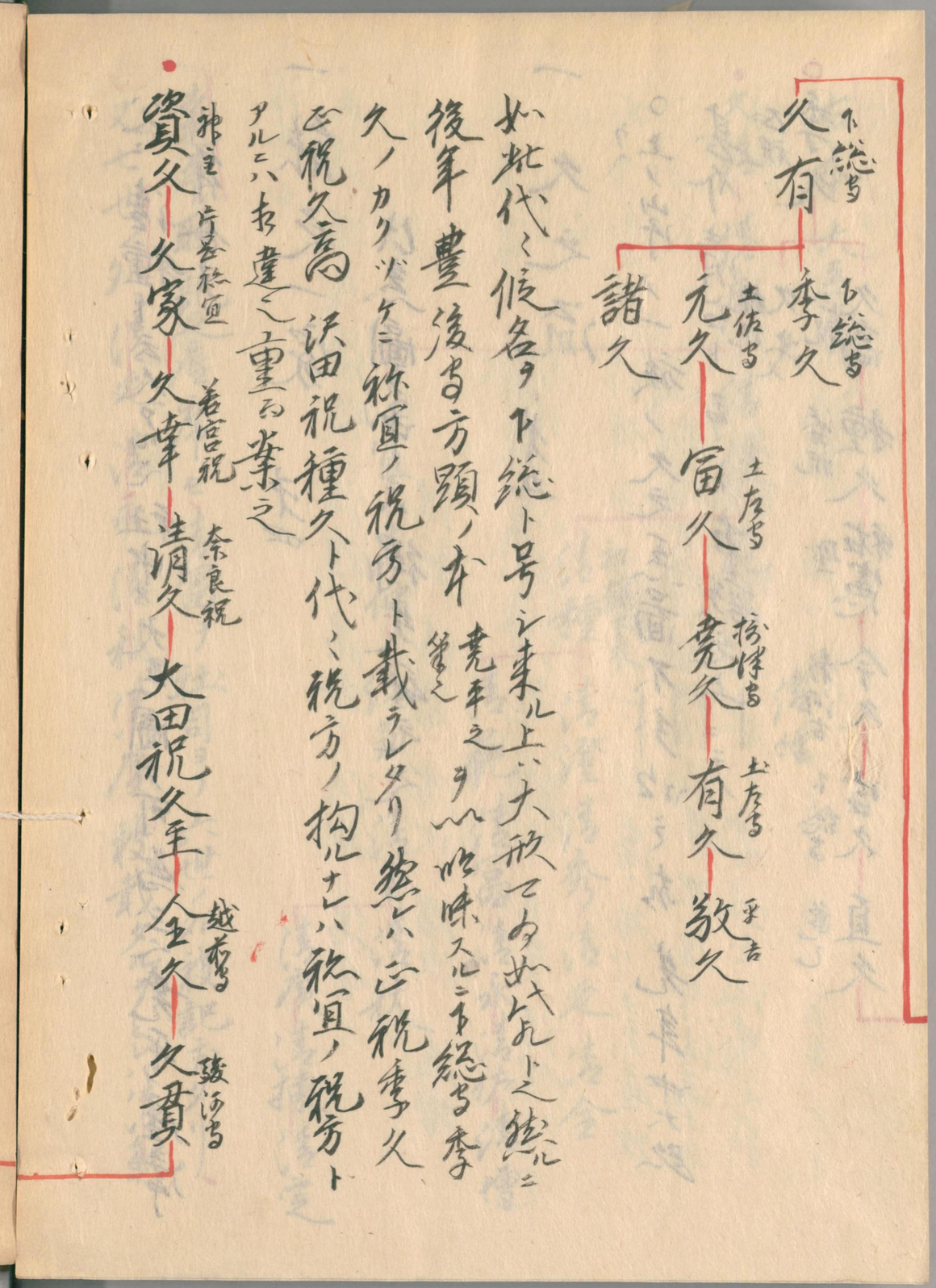
一久之流 第五

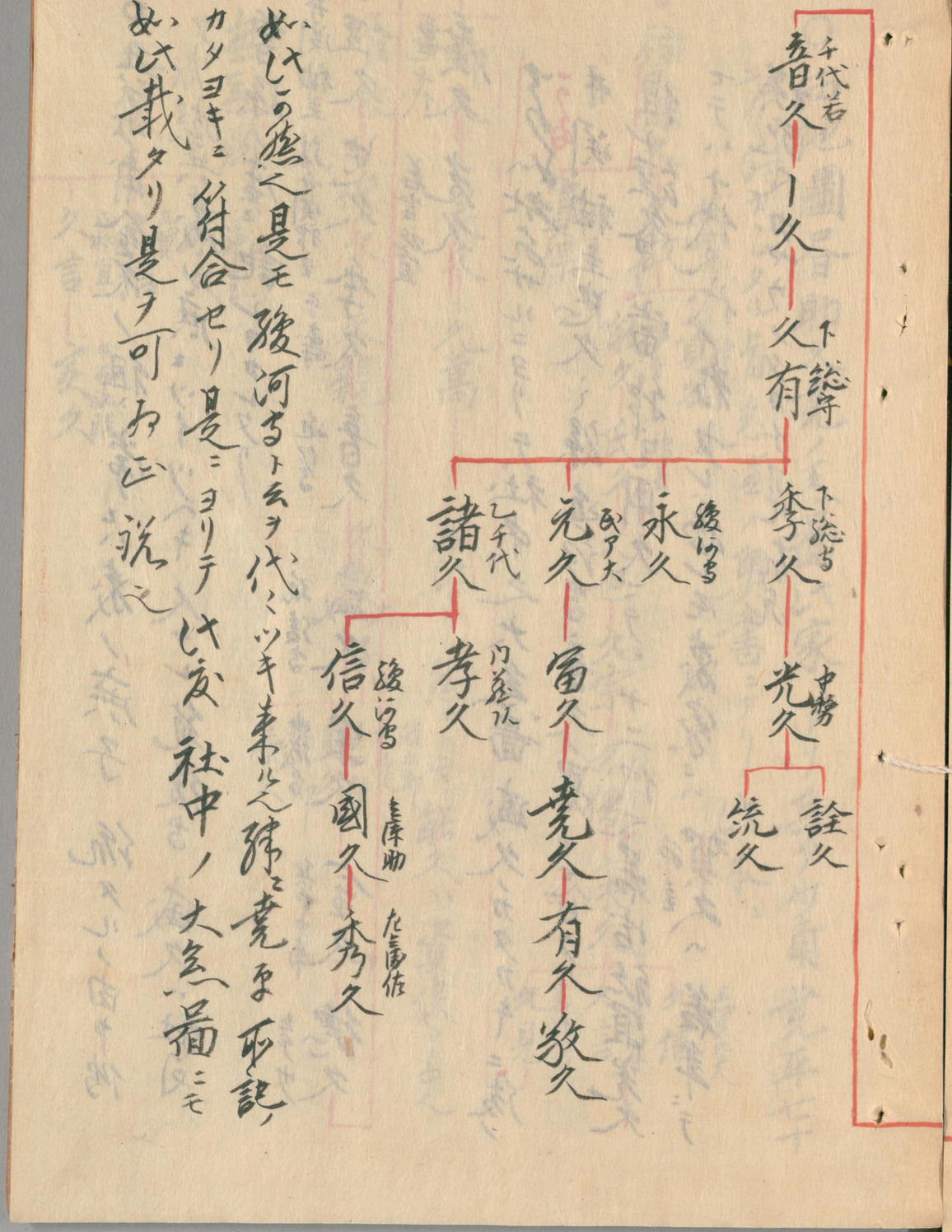
○上ノ岸ノ一族ノ久之系圖不多ト云



基介清右ト手ト右談之上ニテ

先年中大路





如此之儀ニ是モ豊後河守ト云ヲ代々ノ中ニ少キ事ニ候ヘ共カタヨキニ符合セリ是ニヨリテ社家如此載タリ是ヲ可ヲ正祝之

社中ノ大急ニ而ニモ

○五ノ尓甫金久ノ祖、常ニ六家ノ庶子ニシテ統ルノ由ヲ傳タリ依テ六家ノ庶ニツイツヘキ人ナレ統後ち盛久ニ社司曾孫ノ座ニ記シヲカレタリ

井関神主 後井関祢宜 千壽 近等
経久―忠久―季久―音久―盛久―統後ち
亀氏 若宮祢宜
廣久―光久

ちなみに先サルニヨリテ、社中之大系圖盛久ノカタカキニ後ノ
井関神主忠久ニ係近代ち音久ノ男十七日タリ
但シ経久ヨリ當祢宜用久ニテハ十二代ニ若宮祢宜光久
ニテハ十代ニ代ノ数ヲシ、依テ庶家ニハ賀久ノ若年ニテ
横死ニカヤウノメカイアル尓尓

○西地圖昏助久竟ノ系圖ハ家ニアリ尓尓ニ系圖ノ奥書ニアリ代本ニ

神主保久
- 久教 権祢宜
  - 資久 祢主
  - 紘久 祢主
    - 氏久
      - 久世
        - 久宗
          - 久後
            - 床久
              - 久信 正祢宜
              - 久言 若狭守
              - 久見
            - 賀久 五賀久

郷久―良久―久高―めしより、依テ
久―総久―久親―
久教ノ子ハ
権五郎久近
権七郎貞久
権八郎長久

亜系圖ニハ
久後 祢主
- 床久 祢主
- 賀久
- 久信 正祢宜
- 久言 若狭守

能久ハ資保ノ子ニ

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

久見　賀久　郷久

右ノ二本ヲ案スルニ久教ノ子ニ能久ノ本誤リ久教ハ権禰宜久能故ニ其子ニ権五郎久近二男ニ権七郎貞久三男ニ権八郎長久ト云テ歴々アリ也云

一書ニ能久ハ資保ノ二男ニ

又也云ニ國久俊ノ子ニ庶文久猥久信久言久見ノ四人ヲカキリ久猥ハ誤ナラン云々（猥ヲ俊ト書久ハ衍）

久信　久能ハ是ハ國幸助ノ幸ヲ

久言　ヘテ、社家ノ代数ヲ勘ル也カ其子ニ権五郎久近二男ニ

久見　三人ヲ、神主職久ノ子ニ於テ

久信ハ、久言久見ノ

載タルヘ

○大膳進本久ノ祖　志摩守安久ハ馬場ノ在久之曽孫ニ社家社中之大系圖ノ志ア当安久ノカタガキニ馬場在久之曽孫トカキ載ノ在久之孫ノ准拠ナリ然ハ一ノ久ハ安久ノ兄ニアルヘシト雖然座席ヲ考ルニ両様ナリ

一後之覚　第六

忘譜従之　諸事安本聖如

一直之流　第七

代々譜雑記之内代々堂ヲ尋ルトイヘ共諸家ニ無之偶豊後守方顕ノ末（竟カ）ニ（筆カ）秘宜方加賀守実直ト有リ代々ノ下ニ候ヲ知リ代々庭庵ノ末遠ナキカウニ実直ノ者ニ大炊助通直ー直ー直ト四人載ス乍茂木甲斐守敦直ニ我一家ノ代々譜不知（ヒ）ト思ニ（ヒ）尋ルトイヘ共不知ノ由被申候ヲ考ル

一成之流　第八

代々成之一家ニモ代々譜ヲ尋ルトイヘ共諸家ニ無之偶右兄弟重正ノカタヅケニ秘宜方ノ祝トアリ代々ヲ悉ク豊後守方顕ヨリ秘宜方加賀守実直ニ至ル迄古木ヲヨク〳〵吟味シ継合申候ノ口上ヲハテカキツケ〳〵為之中大路嘉介清右ハ何レノ君ヲ始テ仕ヘラレシヲ覚ル

- 季連（勝多カ）
  - 成仲
    - 成祐
    - 成与
    - 成経
  - 成連（右兵衛尉）
    - 成胤（幸千代）
      - 重正（治部大輔）
        - 成宙
        - 成家
        - 成秋
        - 成定
        - 成隆

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』　請求記号 832-305
ガラス使用

成威

如ク称ト申サレ候ヘトモ代々成仲成祐

成興

成綏等ハ何レノ

昏生之助免不安之体ニ縫殿助成詮ヲ代ニ

取不及ニ而殿中ニ於テ有不用代筑

代ニ於テ殿中之大忠畢ニハ

成連 有之候

成胤 有之候 私ニ小サキ部ナトノ祖ノ

成重 有之候

成富 殺害ニ有之候 成良ホノ祖ノ

成隆 十二リ手負助成詮ノ祖ノ

成威 縫殿助 成弘

如ク兄弟四人ニメ其トヨリ家々ヲ立ケルヲ

成詮ロ上之趣如ク成詮ハ先人トモ又筆ノ事ニ心カケ

ノ仁ト云又ハ主ノ家ノ忠畢ト云ヲ傍ニ信用名有ル

相定ル甲斐守敦直モ如右ノ趣ニ殿中ニ於テ

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

一重ノ一家　第九

○重俊　重家　重隆　重基　重茂

（清茂朝臣ハ重隆ト云ヒ延結年中之許陳状ニモ有祝延隆トノセタリ仍而ハ延隆ナルヘシ）

ハ、圖ニ祝重基ニテハ、候テ有之畫ニアリ、徐ルニ林宮内大輔入道号化安ヨリ重ノ一家々ニ圖ニ通ハ、藏ヶ南重村ヘカリヨセ字シヲカレタルヲ見ル

○重継　沢田祝　重助　義部　重季　セナ　重親　沢田祝　重種

（清茂考ニ云ヘ重ヨリ重俊重家重隆重茂ヘ也ト之畫一巻アリ愚案ルニ此説ハ非ナルベシ重親トアルヲ重親ニ見ニガヘタル歟又ハ在家ヨリ代ノ近キヤウニタクミテノ事ナルヘシ）

○重親　正祝　重俊　重基　重茂

ヘハレタル孔ナルベシ若是ヲ本トセハ、重道　権祝　重春　正祝　重貞

重賢　沢田祝　ヲ五代ヲ、脱落シタルナルヘシ

又一巻　二ハ

大入道

○重助　弥三郎　重継　重保　片岳祝　重信　権祝　重定　正祝　重通　権祝　重春　正祝　重貞

重冬　沢田祝　重賢　沢田祝　重親　正祝　重基　正祝　重茂

重種　沢田祝　重俊　正祝　重親　正祝

如斯アリ此説ノ為正ヘ亦系図ニ同之様ニ社中之書文ニモ祝家ノ一ニ重定以降代ヽ級祝之舊流也トアリ

一幸之一流　第十

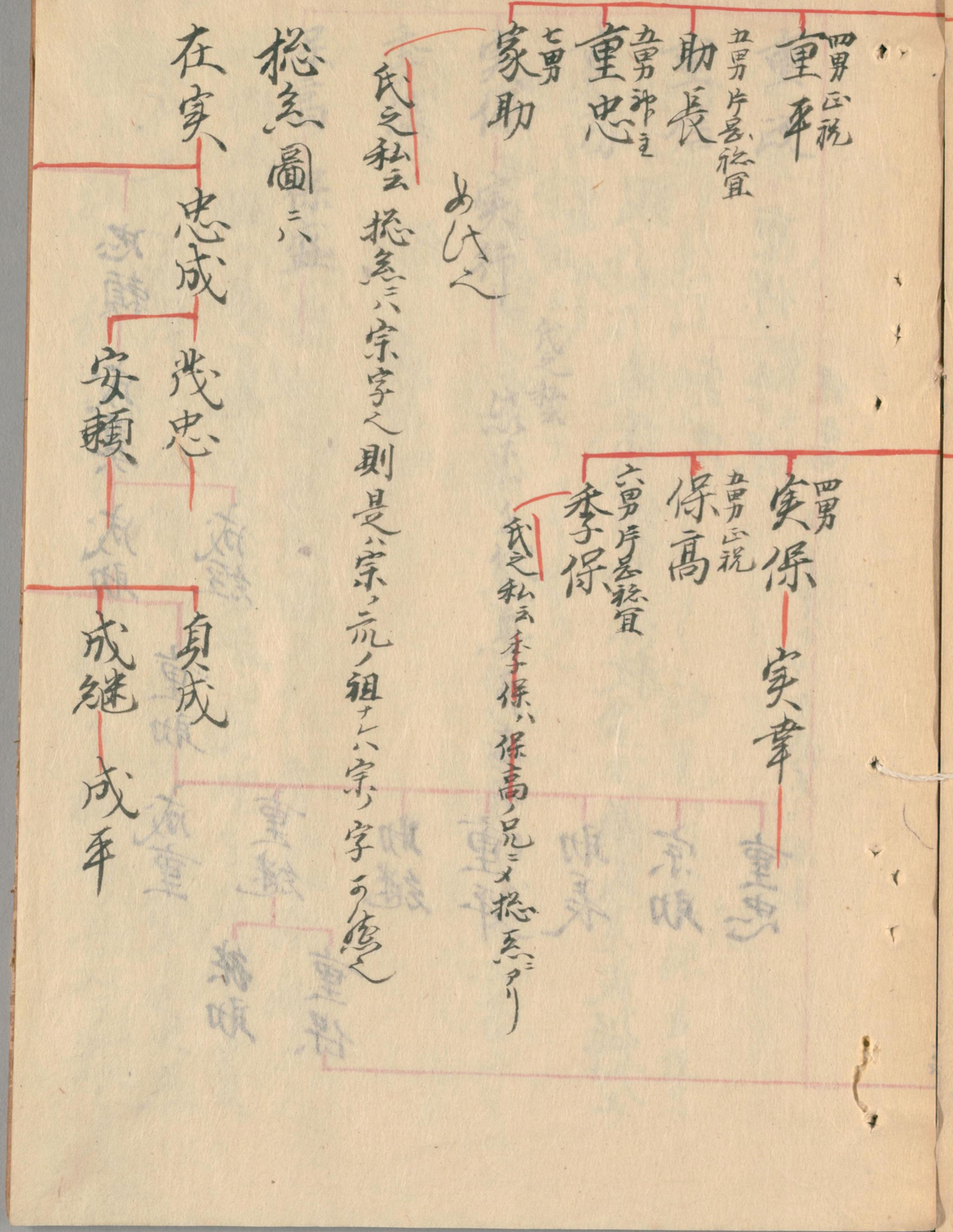
前弥三郎尚久自筆ニテ越後守頼幸ト給ヒ畫一巻

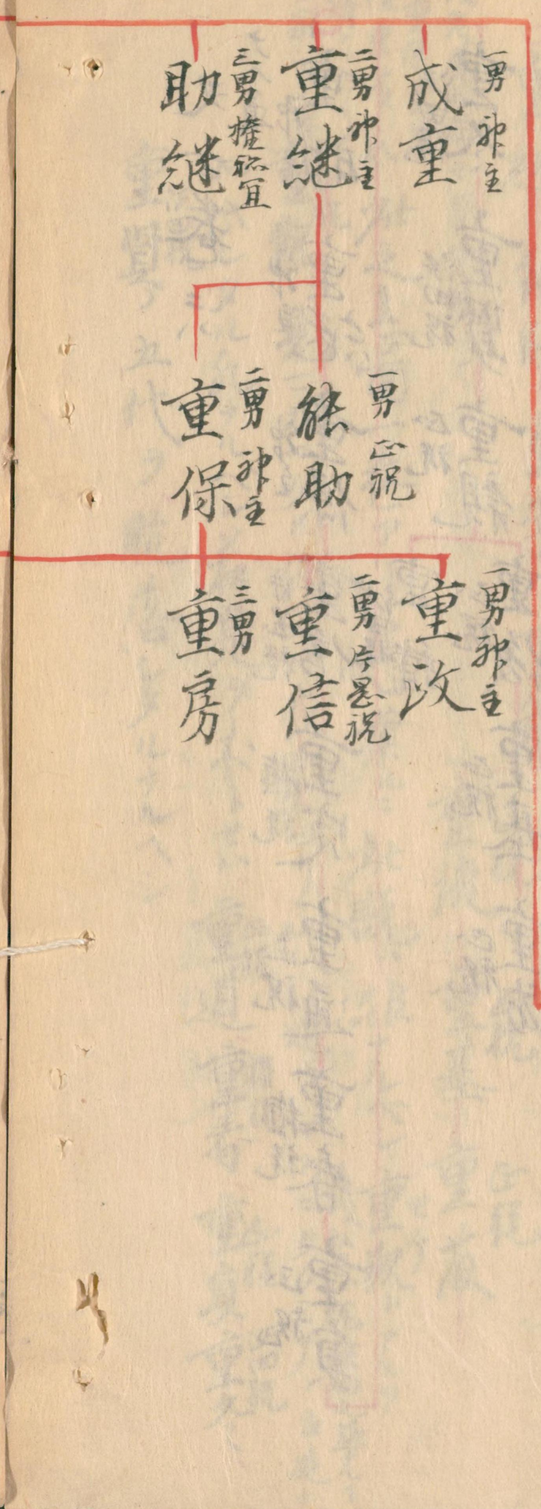
越後守頼幸ハ清ノ孔ノ系畫ニ同シ

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』　請求記号 832-305

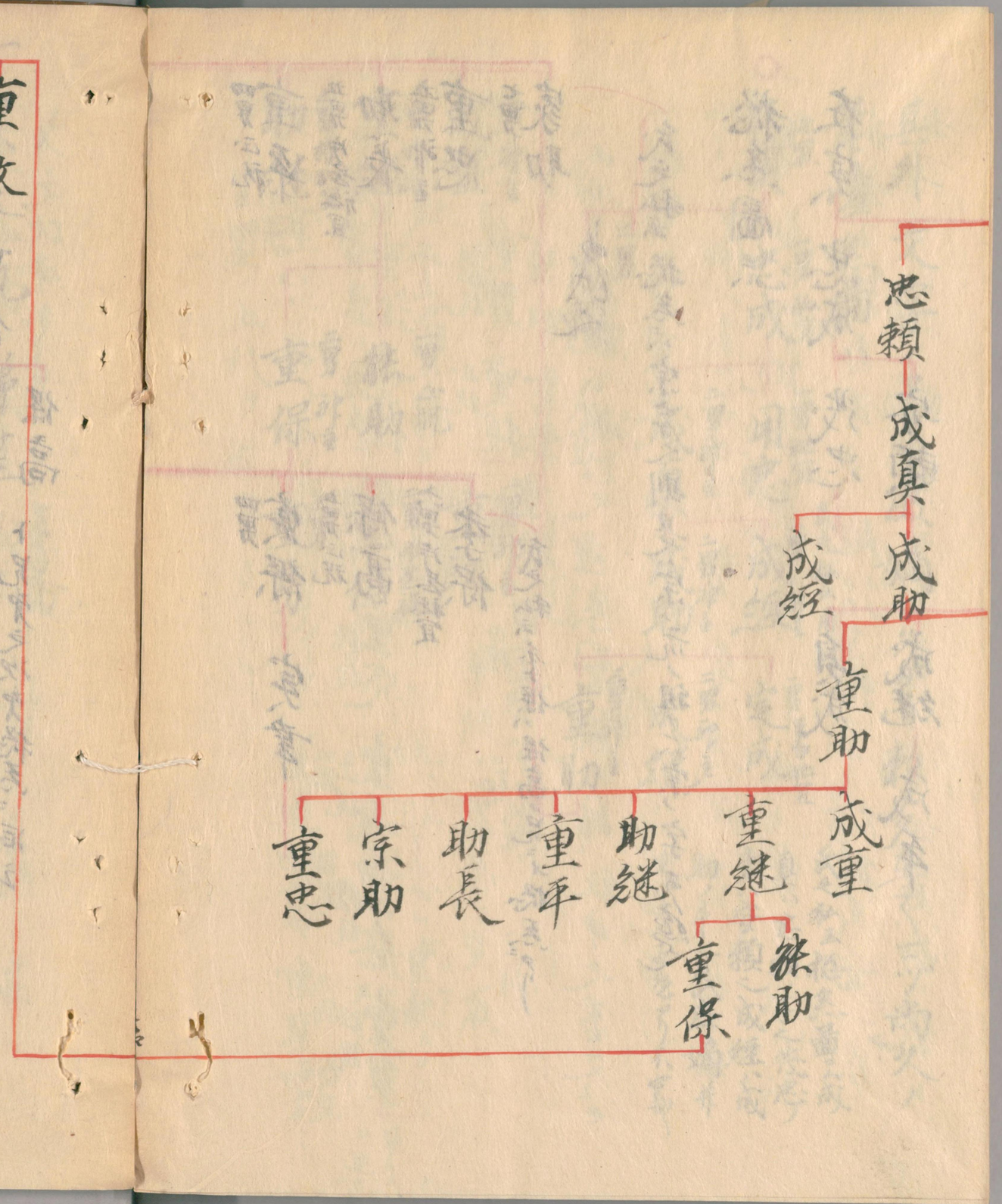
ガラス使用

其外文字ノタガイ庶嫡ノタガイ数多在マス三ツ両久ノ筆漬忩畫ハ





国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用



重政
重信
重房
実保
季保
保高
保盛

実保実行 氏之孫 出下京 主代之処 本日おや

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

一季之一流　第十一

悤忽圖ニ委ク見タリ不實ニ依之

一保之一流　第十二

故左京進保只ノ家ニ保ノ一家ニ忠口ノ古木アリ於茲方ニノ木不實ニ依之

但方頭ノ木ニ成保保能保教トアリ保成ヲ、成保ト上下ニシタリ

重保
- 実保
- 季保
- 保高　ト兄弟之次男悤忽ニ同ニ

一宗之流　第十三

此一流ニ忠口在之此家ニ代々勤見ニ宗能（千代一）若狭守宗國トノ中間ニ二代不見分リ之依之宗ノ字ヲ載テ宗國ヨリ下ツキ来リシ依之

一弘之一家　第十四

此一門ニモ忠國在之亦忠國ヲ考ヘ又産帳ホノ次第ヲ勘ヘ見ニ弘ト修理ヲ弘国ト申ス三代ハ六産帳ニモ合符ヨリ依茲此家ノ大忠國ニモ弘一弘一弘ト弘國ノ上ニ入テ載ル

彼家ノ祖、春松大夫嗣弘ト云フ可用丸ト弘納ヲ被申ケレ共候ニ彼家ヲ社中ヨリノ下知状アリ仍テ知状ニモ丹波守豊弘ト下知スルノ由ヲ載タリ

一顕之一流　第十五

仁一流ノ系嗣方顕并清右衛等方ニアリ依茲社不審ク

一魚之一家　第十六

仁一流之系嗣主ヲ首魚如ノ家ニ在之竟年北六七

文之比ヨリ之由之ヲ系嗣ニ

○在実　忠頼　成真　成経　弥主　正社官　成忠　ケ品祝　成継　正祝　成魚

権祝　経魚　十九帥　魚保　十八　魚基　実ムシ　魚村　次ノ　経村　長寿

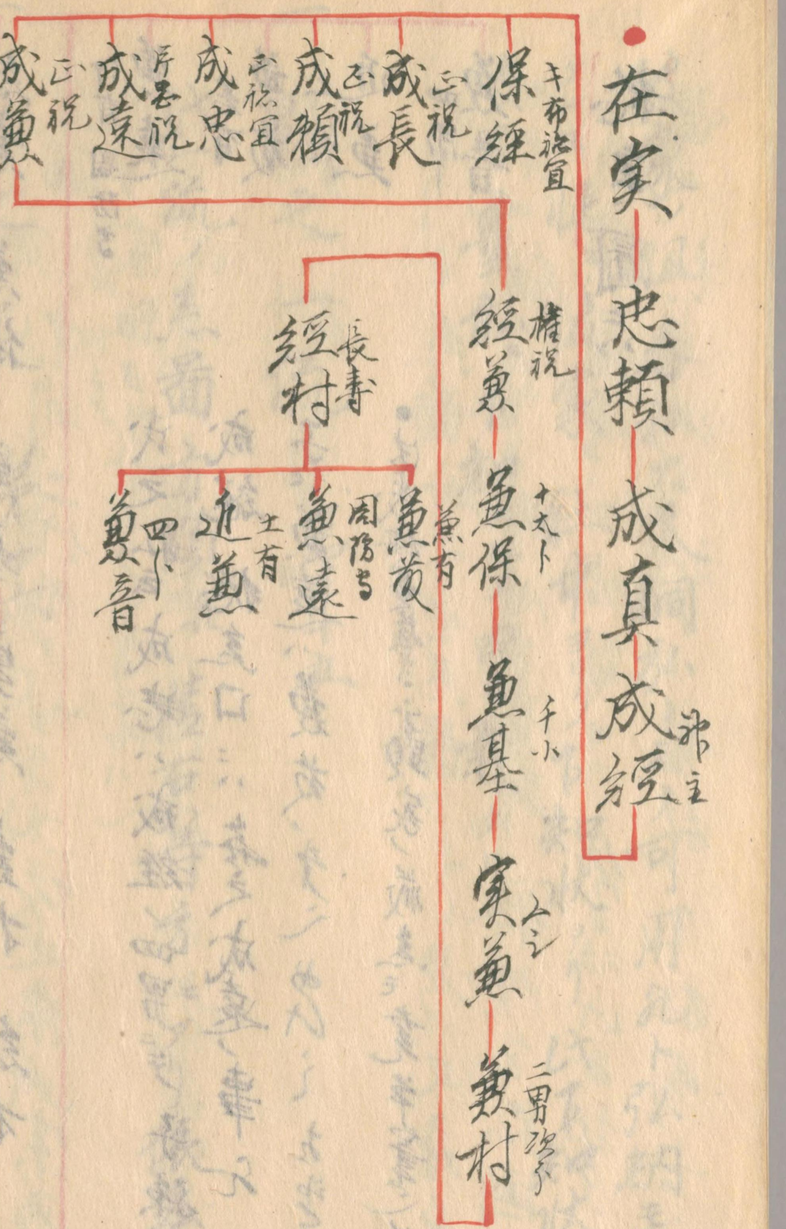
行有　国防ヲ　魚遠　若有　魚友　土有　近魚　四帥　魚音

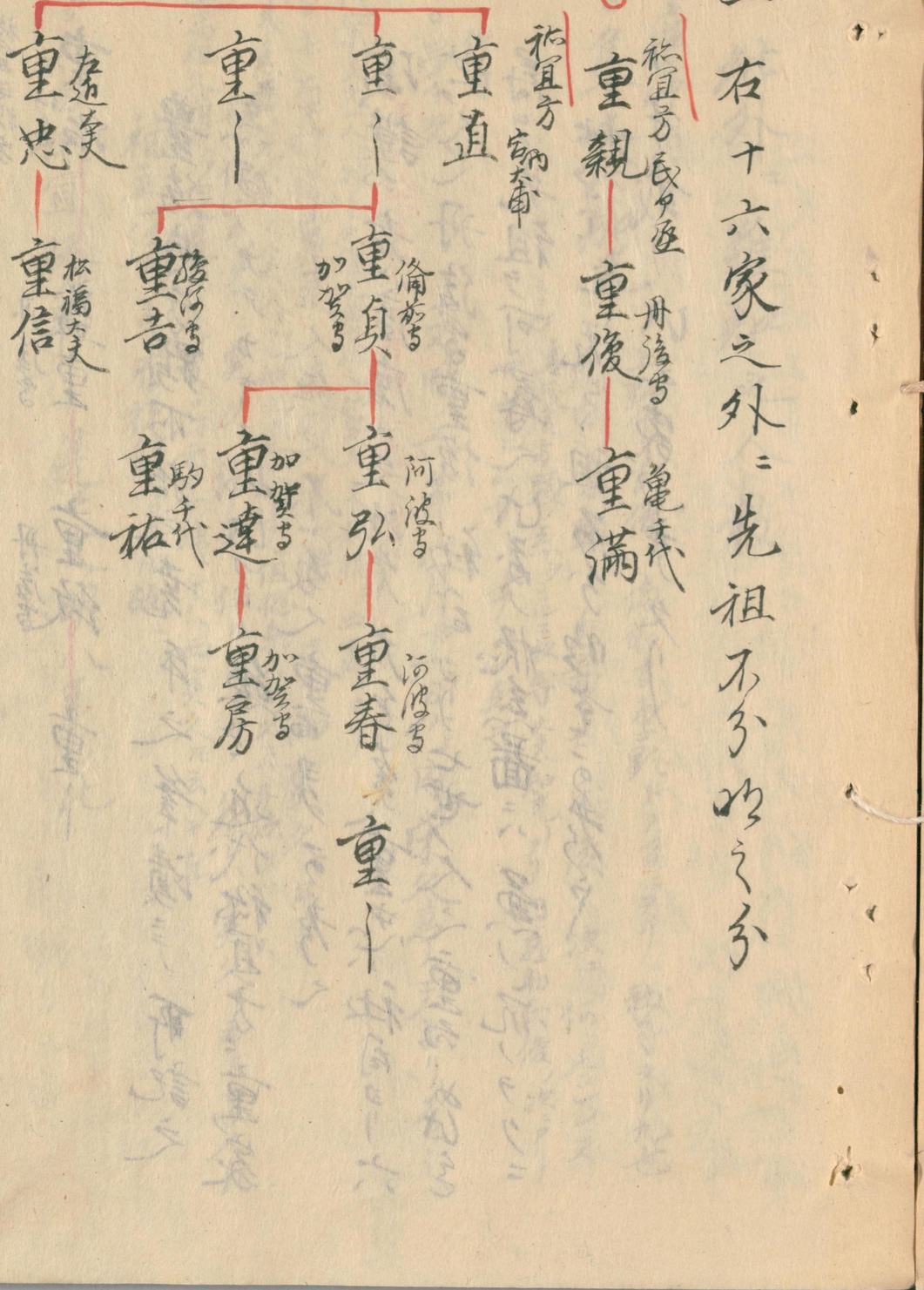
氏之私云成忠ハ成経ノ四男ニテ子孫別ニアリ

成継ハ惣系口ニハ系之成遠ノ事ヲ又経村ヲ魚遠ハ魚友ノ事ニ而ヤ

●清茂梅雪筆ヲ方顕家ノ蔵系モ竟年筆ニ魚如系ニ同

惣系圖ニハ





国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

●重治（丹後守ニ任ス）―盛重（丹後守）―重政（丹後守）―重一―豊後守方顕不拘之党年之業績ニテ所記之為岡ノカタカキニ始テ祭ル近代称宜方ニ重家ヲツキヲホル人無之不審之重而ヨリ一ノ考ヘ項譜ノ考座席之次第右色々ノ考ヘ世人ノ丹後守重俊ハ社司ヨリ七世ノ人ノ重而ヨリ六得ヲ先祖ノ可尋之ト云ノ根元最古ノ証ニハ無之歟下ノ流ヲ祖右ノ吟味ヲ以テ本載ヲ以テ家ヲ本タリ

一社外ニ雑知之人数

座席ノ内

○隼人ニ知光　土野氏後ト伝称ス季野トノ名ニヨリ称ヨリ九世

元内ノ方顕ノ系譜ニ依テ寺ヲ去ル

○清茂後方顕ノ系ヲニル祝寺ヲ去ル

ヤウニムサト寺ヲ去之

竹内

○栄久　文明ノ六年六月十六日竹内栄久亭ニテ

清茂按栄久竹内神主長久内人ト見ヘタリ

○清茂案実久ノ人ハ神主久後之曽孫ニ比実久ハ未嗣祝ニ出家トアリ

○キ布祢祝実久　文明八年ノ帳

今一人ハ表ノ番ニ光久之孫ニ実久トツル神主資久之孫ニ但根本ニ光久ニハ子孫ヲツラス

応仁元年ニ実久神主ニ任ル尼アリ　依テハ実久ト云モ女人ニ

光久之高祖久國久ヲ西入道神主ト号トニハ西実久ニ云ヘキ歟

神主ノ後ニキ布祢祝トアル故ニ

○太田祝宜勝平　是モ文明八年ノ比

○馬場弥久　文政八年八月廿五日ニ被召上補神主之由

○平布祢祝芸久　文政九年四月ニ去二月ヨリ雖任キ布祢祝上表仕之由状アリ

○文政十六年十二月ノ亜文ニ日ノ下ニ豊久ト云アリ

○永正十二年三月廿日状日ノ下ニ為平　師久　前祝重賢

茂久　師久　迷判之

比師久　茂久

○茂久、永正七年ニ書札之為ニ神主茂久ト書但民字無

数久、氏人之内ニ入テ云之又云傍ら願之義ニ付而永正八年十二月　松下茂久ト云判形之　松下氏ヲ大補又天文廿三年十一月廿六日茂久ト判アリ　坂内玄蕃補

反ヲもしくハ状之時ニ預ル

状之ニカレハ教久ノ孫タルヘキ云云最ニハみゝにハ但後日ニ改名ニテアルヘシ

○永吉元年ノ添札之為ニ

新宮祝宣　　出損ニテみゝにハ

同　祝　　茂久

大田祝宣　　益久

同　祝　　継平

若宮祝宣　　隆富

同　祝　　春久

奈良祝宣　　久忠

○清茂私云嘉吉元年四月十七日後栄光院具成ハ記云賀茂若宮祝高富掛乗替毎年法儀ト云ヽ

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

同　祝　宮久
伏田祢宜　延久
同　祝　重富
氏神詣
同　祝　重脩

同年　乳之宮ニ氏人ノ中
光成　重祐　（徳元寅年）　営弘
豊保　（智寅年）　朝家（鶴千代）
知時　（清茂祢宜知時ノ忌日ニ見重時男）　有知（松寿千代）
氏之名アリ重而可考之

右一帖者貴布祢前祝氏之真蹟也
万治年中一社之初一名ヲ図被修之時
家々古文書大同小異不審ヲ以悉
考為備後世之亀鏡而已
残猪面而已

正五位下賀茂氏侍

右申請氏之嫡孫氏柱家藏之本
而写留也

正徳四年四月廿五位下行右京権大夫賀茂清茂
従六位下賀茂県主直恒謹摸写畢

享保五年中春廿五位下賀茂県主奥借写

壮一冊者従清茂主
之写
干時
安政五年午中春

淂啓

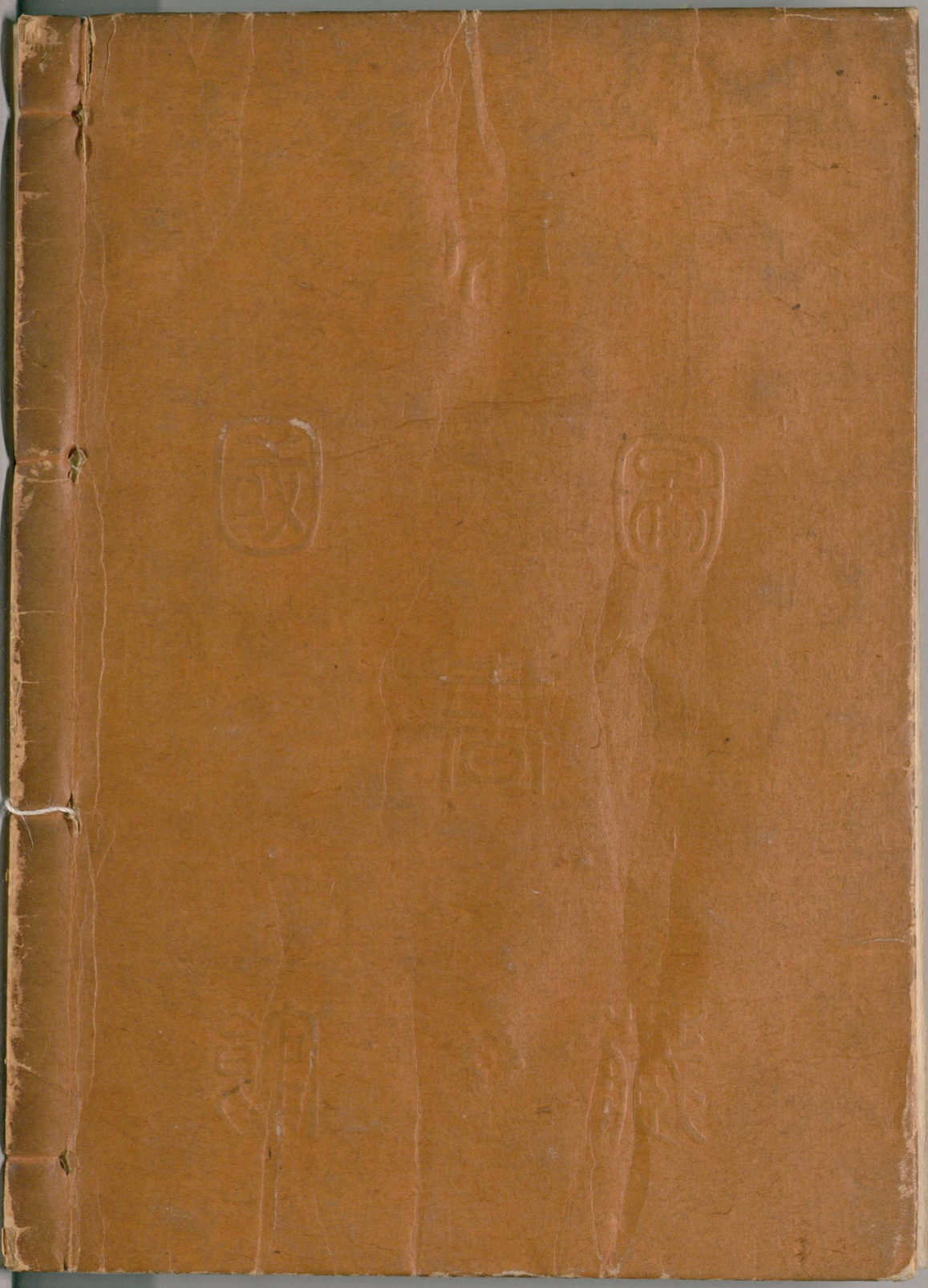
国立国会図書館　　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』　請求記号 832-305

ガラス使用

832
97
305

国立国会図書館　　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『賀茂社記録. 第47冊』 請求記号 832-305

ガラス使用